

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、引けにかけて方向感なく推移し、3.07台半ばで取引を終えた。国際通貨基金(IMF)は10日、2015年のブラジル経済成長率見通しを、従来のプラス0.3%から、マイナス1%へ下方修正した。財政・金融政策の引き締めに加え、ペトロブラスによる投資削減を要因として挙げている。一方で、政府が財政緊縮策を通じて投資家の信頼回復を実現すれば、2016年にはプラス成長に戻ることは可能との見方も示した(この点は、2016年にかけてインフレ率は政府目標である4.5%に収斂し、成長率も改善するとの中銀見通しと一致する)。また、ブラジルの為替市場への介入縮小を歓迎すると表明し、レアル相場の一段の低下に向け、介入は低水準に留める必要があるとの見解も提示した。米3月雇用統計が予想対比弱い内容となったことで、レアル相場は3月20日に付けた3.31台半ばから約7%近く増価したものの、最新のFOMC議事録では「数人の参加者が依然として6月利上げが妥当」との考えを有していることが確認できており、緩やかなドル高基調が再度レアル売り圧力を高めると予想される。

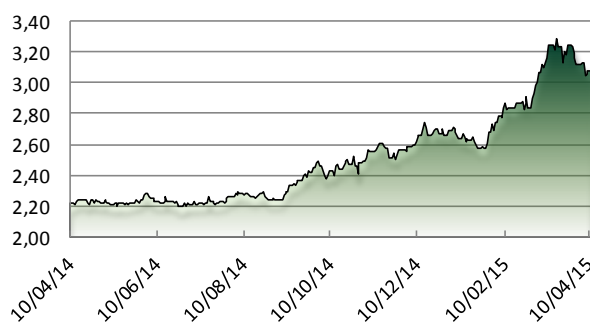
Levy財務相は10日の講演において、「ブラジルは海外投資家に対し、財政健全化への取り組みは順調に進んでいることを示す必要がある」と発言し、緊縮財政政策の実現に強い意欲を示した。また、政府は8日、連合与党であるPMDBの造反による議会混乱を収束させるためVargas制度相を解任。Temer副大統領を兼務という形で後任に指名した。これらの対応が、足許のレアル買いをサポートしていると見られる。

マーケットデータ

Indicator	Unit	4月9日	4月10日	前日比	3月10日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,42	39,09	-0,33	39,04	+0,05
USD / BRL Spot	BRL	3,0577	3,0754	+0,0177	3,1013	-0,0259
USD / JPY Spot	JPY	120,58	120,22	-0,36	121,13	-0,91
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	53.803	54.214	+411	48.293	+5.921
CDS Brazil 5yrs (クレディットデフォルトスワップ)	bps	237,1	247,2	+10,1	286,8	-39,6
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,61	12,58	-0,03	13,13	-0,55
DI Future Jul16 (金利先物)	%	13,23	13,19	-0,04	13,78	-0,59
3 Months US Dollar Libor	%	0,276	0,277	+0,001	0,268	+0,009
CRB Index (国際商品指数)	Index	216,1	217,1	+1,0	216,0	+1,1

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

